

地域での備え

清田区・北野第二団地自治会

川の氾濫などを見据え 支援が必要な人を事前に把握

近くにある厚別川の氾濫や地震を想定し、アンケートを通して「支援ができる方」と「支援が必要な方」を把握しています。あらかじめ誰が誰を助けるか決めておくことで、災害時にとるべき行動を明確にし、迅速な避難につなげます。



先日の大雨時、近くの厚別川は氾濫寸前でした。実際に災害が起こったときに慌てることのないよう、最悪の状況を想定することが、私たちの命を守るのだと思います。これからも地域のみんなで話し合いながら防災意識を高めていきたいですね。

民生委員 ささき りょうこ
佐々木 涼子さん



▶ 支援が必要な方を実際に運び出す訓練を実施。避難経路や救命の方法が再確認できたと好評だった



中央区・宮の森大倉山連合町内会

土砂災害などを想定した訓練で 災害に負けない地域づくり

訓練は平成3年から毎年行っており、今年は約130人が参加。土砂崩れで倒壊した家屋の模型を使った人命救助や、土砂を運び出すバケツリレーなど、体験を交えて行っています。



この地域は、三角山など三つの山に囲まれた傾斜地にあるので、「土砂災害は必ず起こる」という意識で防災に取り組んでいますよ。訓練のたびに機材の使い方や、災害時の役割分担を確認できるので、今後も毎年開催していきます。

宮の森大倉山連合町内会会長 よしだ しげひろ
吉田 重弘さん



▲ 訓練では、土砂が川の流れを変えることで起こる浸水を想定し、土のう作りを行った

▶ 地域活動の拠点である町内会館に、防災機材をそろえている



大雨から 得られた教訓を 未来に生かす

市民を不安と恐怖に陥れた9月11日の大雨。そこから得られた教訓を、私たちは今後生かしていかなければなりません。記憶が鮮明なうちに、家庭や地域でいまだ一度あの日の行動を振り返り、今後起こるかもしれない災害への備えに役立ててみてはいかがでしょうか。

防災のことが詳しく分かる冊子を配布中！



大雨や地震発生時の避難方法などを解説



地域でできる防災の取り組みを紹介



大雨や竜巻発生時の避難方法を説明

配布場所 区役所、市役所7階危機管理対策課 ほか

ホームページでも見られます

札幌市 パンフレットライブラリー

検索